

# Tokyo Tobihino Rotary Club



会長 結城 祐純



幹事 谷 和彦

会長テーマ クラブを再加速する

2023-24 Weekly Report vol.36-41



世界に希望を生み出そう

2024年5月14日(火) 第1676回 通常例会 於:飛火野事務所

- 司 会 会員増強委員会副委員長 守重会員
- 開会点鐘 会長 結城祐純会員
- 奉仕の理想 今月の歌「とんび」
- お客様紹介 会長 結城祐純会員
- ニコニコ報告 親睦委員会副委員長 大貴会員  
ニコニコメッセージ後記
- 出席報告 出席委員会委員長 葛西晃子会員  
報告後記
- 会長報告 会長 結城祐純会員

昨日の雨で浅川の水量が上がってました。今日はすがすがしい天気ですね。

5月12日(日)新選組祭り屯所手形めぐりの留守番にお手伝い下さった会員の方、ありがとうございました。手形めぐりにブラジル、ドイツ、アメリカ、韓国、中国の外国人の方も参加されてました。それと先週7日(火)は第6回多摩南グループ協議会があり、私と谷幹事、事務局飯田さんの3名で出席してまいりました。

この最後のグループ協議会が終わり、私としてはいよいよラストパートをかけてまいります。その活動として19日(日)はロータリー奉仕デー、フードドライブ事業です。一人でも多くの会員のお手伝いをお願いすると共にご自宅にある未使用の食品をお持ちいただければ幸いです。改めて場所はイオンモール多摩平の森、時間は9:30集合で赤のポロシャツ又はジャンパーと帽子。10時から15時まで行います。今回の活動は地区社会奉仕委員会のホームページで文章と活動写真が掲載されますので、皆さんよろしく願います。

## ■幹事報告 幹事 谷 和彦会員

- 1.八王子東 RCより合同例会のお礼が届きました。
- 2.地区役員の棚網基己様の訃報が届きました。
- 3.八王子 RC・八王子西 RC・八王子南 RCより例会の御案内が届きました。
- 4.目黒RCより「事務局メールアドレス一時停止と変更について」のお知らせが届きました。
- 5.稲城 RCより「例会場名称変更のお知らせ」が届きました。

## ●イニシエーションスピーチ 片桐寛文会員

私は昭和49年11月5日、日野市生まれ、高幡不動育ち、日野を愛してやまない49才の独身男子でございます。幼少期より運動が好きで、またいろんなものに影響を受けやすい子供でした。小学校3年生からは、NHKドラマ宮本武蔵に影響され剣道を、東京至誠館道場にてはじめたり、サッカーの世界的スーパースター、ディエゴ・マラドーナにあこがれ毎日サッカーをして、サッカーアニメ、キャプテン翼のように中学を卒業したらブラジルへサッカー留学してプロサッカー選手になろうと本気で思っていました。が、そのことを親に話すなり「そんなの無理だろ!プロになるならすでに町で評判の選手のはずだ!お前はそうじゃないだろ」と一喝。説得する技量もパワーもなく、また親の言う通りサッカーの才能、実力も今思うとまったく無かったように思います。しかたなく、その夢はあきらめました。想いは本気だったもので、すからサッカーだけやって勉強は全くしていませんでした。ですの

で高校も普通科に進学する学力がなく1990年当時はまだ低学力で入れ、また暴走族や不良たちの受け入り場所でもあったような工業高校である、立川にある昭和第一学園の建築学科に入学しました。当時の昭和第一学園は男子校で、やはりリーゼントにボンタンズボンのピーバップハイスクールにでてくるような先輩や、クラスメイトのなか私は「ほんとにやばいところに来た!パンチパーマで親分みたいな先生が担任だし、前の席は、ヤクザの兄貴みたいな留年した先輩。囚人服みたいな作業服を着てコンクリート作ったり、溶接したり、これで名前じゃなく番号で呼ばれたら刑務所だよ(泣)、勉強して普通科に行けばよかった」と本当に後悔していましたが、学校生活を過ごすうちに、夜な夜な暴走している族のやつらや、悪そうな奴らほど、性格がはっきりしていて、気持ちのよい奴らばかりでした。最初の印象とは180度ちがいが大きな友情と、あたりまえですが、まっとうな先生方のあつい尽力により、大変楽しい高校生活を送りました。ちなみに自分はリーゼントでも、パンチパーマでもなく、暴走行為等いたしたことの無い、ちょっと学力の低い、いたって真面目な学生でした。

話は幼少期に戻りますが、運動好きのかたわら、手先の異様な器用さから常に何か物を造形していたように思います。育った家庭は特に不自由なことはなかったのですが、おもちゃや遊具など、子供が好きそうなものはことごとく買ひ与えない両親でしたので、空き箱や段ボールをセロハンテープやガムテープ、糸や廃材などを組み合わせ、ロボットや、車、人形、プロレスラーの覆面、ゴルフクラブを廃材の竹で作って遊ぶなど、今思えば何も無いところから物を生み出す訓練が幼少期に身に付いたのだと思います。

ですので、運動は大好きでプロサッカー選手になりたいのに、学校の体育の成績は5段階評価で3が常で、良くて4が限界。半面、美術や図工は何をしなくても5で、悪くて4。物を造り始めるのと止まらない、そればかり考えるようになってしまった性格だったので、先生方はそれを評価してくださっていたのだと思います。また、体育の成績がそれほど良くなかったのは、何かにつけこだわりの性格が、瞬時の判断とスピーディーに行動を展開していくスポーツから見ると、向いていなかったのだと思います。

さて、片桐家では毎年夏に家族旅行をしていて、国内のいろんなところへ行きました。なかでも愛知県にある明治村を訪れた時の印象が強烈で、明治村は明治に建てられた建物を移築・保存・展示をしている施設であります。そこには、日比谷にありました旧帝国ホテルのエントランスが移築保存されています。設計者は建築の世界3大巨匠の一人、フランク・ロイド・ライトです。この建物の入口に入りホールへと進むと、視線は高みへといざなわれます。装飾群とその装飾により変化した美しい光や、天井の高さは歩くたびに変わり、空間の強弱が引き出す、壮大さが、小さな私の体を圧倒しました。小学生の私は、そこで初めて建築を感じたのだと思います。

余談ですが、この旧帝国ホテルが移築保存されているのはエントランス部のみです。現在の機能としては展示と喫茶スペースのみですが、私は何年かかってもよいので、このホテル全体を復元し、

明治村の宿泊ホテルとして機能を再開できたら、本物の街並みとして体験できる施設になり、大変に素晴らしいだろうなと思っています。建築は「機能を与えられてこそ輝く」私はそう考えています。ちなみにこれは、片桐個人が勝手に考えている構想であります。高校を卒業しまして、浪人生活をへて、大学は工学院大学の機械学科に行きました。建築の片桐がなぜ機械か?と思われるかもしれませんが、当時の私は、ロボットも作ってみたいという願望がありまして、機械学科に入学しました。しかし、当時のロボット技術では私の理想とするロボットの仕上りにはなりません。機械技術の仕事とは、技術そのものが「できるのか・できないのか」白黒はつきりさせる世界です。それに対し、同じ技術の仕事でも、建築は、美しさや機能が技術と融合し、きわめて人間のであり、人の根源を突き詰め追及する芸術であります。自分はこれがやりたい!人間が感じる普遍的な価値感「根源的に良い物」を追える建築は、一生追いつけられる夢だと思い仕事にすることにしました。大学を卒業後、就職したのは八王子にあります中小企業のデベロッパー不動産会社でした。父親が建築士でありますので、子供のころから何気なく建築の環境を感じて育った私は、1つ1つの建物のために腰を据えて、長い時間をかけ、設計し造る建築設計の仕事は大変すばらしいと思っているかたわら、常に流動的な社会情勢からは隔離されがちな仕事であるのではないかと感じていました。ですので建築をやるならまず、デベロッパー会社に入ってマンション開発や、戸建て分譲事業、店舗事業や賃貸事業など、事業全体を見渡すことができた上で建築設計を行った方がよいのではないかと思い、こちらに入社いたしました。デベロッパー会社で3年お世話になり、事業全体を実務を通じ見渡せた私は、いよいよ実際の設計業務に入ります。

次の会社は杉並区にある会社で、そこもデベロッパー不動産会社でしたが、そこでは建築設計者として入社しました。

その入社条件として「1級建築士であって設計実務経験者」「住宅の設計を、お客様との打ち合わせから、設計、工事監理まで全てをお任せいたします」とされていました。

自分のやりたい仕事にバッチリはまっていた内容で「これはやるしかない!」と思い応募したのですが、当時の私は1級建築士ではなく、2級建築士です。設計の実務経験といえば、分譲住宅の外構(駐車場や庭)設計くらいしかしたことはありません。しかし、建築設計を志している私としてはどうしてもこの仕事をしたい!私は面接で社長に対し「設計の経験は住宅でしたらあります!」と机上でしか設計したことのない経験を、あたかも実物を作り上げたかのように説明をし「今は2級建築士ですが、入社したら1級建築士はとります!」という「願望」と「やる気」だけで面接は合格、入社しました。

後から気づいたのですが、この会社は設計部の主任クラスを募集していたのです。この会社は少数精鋭で、営業が社長含め4人、設計が2人の体制で、数十億円の事業を動かしていました。またその時は、設計部のベテラン建築士がやめる寸前で、私が入った途端やめてしまいましたので、いきなり私が筆頭の建築士です。これはやばい!しかし技術というものは口や言葉尻でごまかせるほど、あまいものではありません。

入社数ヶ月で「ん?なんかこいつおかしいな?」とまわりが気づき始めるのです。建築の知識はあるが実務の経験が乏しい私は仕事が前に進まず、時折ミスも犯していました。しかし毎日会社に泊まり込み、やる気はある。会社は数か月後、ベテラン建築士を雇ってくれ、私はその人の下で働くこととなりました。

そこからは叩き上げの社長の方針もあり「やるなら実戦で覚え

ろ!」とすべての仕事は実戦で設計しました。木造の在来工法にはじまり、ツーバイフォー住宅、重量鉄骨造に鉄筋コンクリート造とすべての建築構造をこの会社で設計し、造りました。

そして、この会社にいながら社長が私を独立させてくれまして、後半は自分の設計事務所名で設計監理するまでにいたしました。この会社と、当時の社長にはとても感謝しています。

また、建売の価格なのに「将来かならず単価の良い、いい仕事持ってくるから!」とむりを工務店にお願いしながら注文住宅なりに設計した分譲住宅は、即日完売!収益物件の小さなアパートでも大きな利益を出してオーナーチェンジするなど、多少の恩返しはできたのではないかと考えています。ちなみに工務店には10年後、注文住宅で倍以上の単価で数棟お願いすることができ、約束を果たすことができたとおもいます。※倍以上の単価とは、お客様の要望による建築単価で、不当に釣り上げた金額ではありません。ただ、この会社にいるあいだ1級建築士になることはありませんでした。社長!ごめんなさい!そして、どうもありがとうございました!そこから意気揚々と、自分で設計したアパートを事務所にし、それを営業の糧とスタートしたはずの杉並での独立生活でしたが、仕事が少ない中、自分のデザインで釣り上げてしまった家賃を払うのに苦労して、1年であえなく撤退。鼻をへし折られ、プライドを踏みつけられながら、やむをえず日野市の自宅に事務所を変更したり取得するのに何回も落ちながら、死にそうなおもいでやっと1級建築士も取りました。

そんなこんなで高幡不動を基点とし20年関東だけでなく、地方でも仕事をするなど、相変わらず設計事務所を営んでおります。

■謝辞・謝礼 会長 結城祐純会員

片桐会員ありがとうございました。今後クラブの活動にご協力ください。

●閉会点鐘 会長 結城祐純会員

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1676回	24	20	0	-	3	83.3
第1674回	24	11	3	0	10	58.3

ニコニコBOX

本日 22,000円 累計 753,721円

本年度目標額1,200,000円 達成率62.8%

※今週のメイクアップ なし

※先々週の後メイクアップ なし

ニコニコメッセージ

結城祐純さん・・・5/10 妻の誕生日に花をいただきました。ありがとうございました。

河野和正さん・・・誕生日のお祝いありがとうございました。片桐様イニシエーションスピーチをよろしくお願い致します。

渡邊良勝さん・・・新選組祭でのスタンブラリー奉仕、会長・幹事他参加全員の皆様お疲れ様でした。

守重昌之さん・・・新選組まつりパレードを初めて見ました。想像していたよりも多くの参加者とギャラリーがいて海外や遠方にも新選組ファンがいることに感動しました。日野市が新選組を通じて世界中に知られている事に嬉しく感じました。

梅田俊幸さん・・・5/18 防衛市民の集いを豊田南公園予定地にて開催します。夜は花火もやります。翌日 19 日はフードドライブですのでこちらも宜しくお願いします。

小高俊明さん・・・片桐寛文様本日の卓話よろしく願い申し上げます。楽しみにしております。皆様どうぞご愛ください。

山本光一さん・・・片桐さん本日の卓話宜しくお願い致します。

大貫 寿さん・・・片桐様本日は卓話よろしく願いいたします。